

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アップガレージ  
 コード番号 3311 URL <http://www.upgarage.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長 (氏名) 大塚 康雄  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5457-1616

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,452	—	99	—	73	—	27	—
20年3月期第3四半期	3,259	4.8	117	—	113	—	47	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1,622.77	—
20年3月期第3四半期	2,783.70	2,775.18

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1,845	—	787	—	42.7	—	46,649.14	—
20年3月期	1,696	—	779	—	46.0	—	45,904.59	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 787百万円 20年3月期 779百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,665	8.1	145	△1.9	89	△37.5	36	△43.1	2,126.15

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 16,990株 20年3月期 16,990株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 108株 20年3月期 0株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 16,946株 20年3月期第3四半期 16,990株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月14日に公表いたしました平成21年3月期の通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料に記載されている業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績とは異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や円高を背景に、雇用情勢の悪化、消費者の消費意識の冷え込みなど、小売業界の経営環境としては依然と厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社の属するリユース業界では、消費者の環境問題に対する意識が高まり、市場規模は着実に拡大しております。当社においては、中古カー用品等の買取・販売事業「アップガレージ」を主軸とした直営事業及びフランチャイズ事業の活性化に取り組んでおります。直営事業では、前期、店舗の収益力強化のため凍結しておりました新規出店を再開し、更なる事業の拡大に取り組んでおり、既存店舗においては、店舗の収益力、販売力の強化により安定した収益を確保しております。

フランチャイズ事業では、安定した収益の確保、競合他社の追随を許さない強固なアップガレージブランドを確立する為、直営事業で培ったノウハウを基に、店舗運営やスタッフ教育等の指導を行なっております。新規開発としては、未だ開発が遅れている空白県への新規出店の誘致、また、既存で出店がある県においても出店可能エリアは多数存在するため、新規フランチャイジーとの契約若しくは既存フランチャイジーの追加出店等を促しております。

当第3四半期累計期間の店舗数の増減は、「アップガレージ」で4店舗の出店（内フランチャイズ店3店舗）とフランチャイズ店1店舗の閉店、「アップガレージ ライダース」ではフランチャイズ店2店舗の出店と3店舗の閉店、「アップガレージホイールズ」では3店舗の出店（内フランチャイズ店2店舗）がありました。よって、当第3四半期会計期間末の店舗数は、「アップガレージ」66店舗（内フランチャイズ店50店舗）、「アップガレージ ライダース」12店舗（同店11店舗）並びに「アップガレージ ホイールズ」7店舗（同店4店舗）を全国展開し、直営店及びフランチャイズ店の合計店舗数は85店舗となっております。

当第3四半期累計期間末における当社の出店、閉店の状況は以下のとおりです。

	出店		閉店		第3四半期累計期間末店舗数		
	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	合計
アップガレージ	1店	3店	—	1店	16店	50店	66店
アップガレージ ライダース	—	2店	—	3店	1店	11店	12店
アップガレージ ホイールズ	1店	2店	—	—	3店	4店	7店
合計	2店	7店	—	4店	20店	65店	85店

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は順調に推移し、3,452,085千円となりました。利益面につきましては、直営店の新規出店に伴う出店費用が影響し、営業利益99,851千円、経常利益73,654千円、四半期純利益は、税金費用等36,227千円を計上したことにより27,499千円となりました。

事業別概況は以下のとおりです。

#### (直営事業)

当第3四半期累計期間の直営事業においては、消費者の低価格志向により、当社商品分類のタイヤ・アルミホイール分野では、低価格の中古タイヤ、海外ブランドの新品タイヤの売上が好調だったのに加え、冬季スタッドレスタイヤ、アルミホイールの販売が好調に推移し、売上高1,111,284千円（前年同期比6.0%増）となりました。カースポーツ用品分野においては前年同期に比べ若干下回り売上高504,074千円（前年同期比5.1%減）となりましたが、カーオーディオ・カーエレクトロニクス、その他のカー用品分野においては、それぞれ売上高666,414千円、756,713千円（前年同期比4.8%、17.1%増）と前年同期を上回る結果となりました。結果、販売力の強化並びに新規出店が寄与し、直営事業の売上高は3,038,487千円（前年同期比6.2%増）となりました。

#### (フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業では、既存フランチャイズ店の販売が好調だったのが寄与し、ロイヤリティ収入188,154千円（前年同期比3.4%増）となりました。ロイヤリティ以外の収入においては、新規加盟契約に伴う店舗設備販売収入等の増加により、225,443千円（前年同期比3.8%増）となりました。結果、フランチャイズ事業の売上高は、413,597千円（前年同期比3.6%増）となりました。

※前年同期比率に関する情報は参考として記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ114,285千円増加し、1,381,576千円となりました。これは主として、新規出店等に伴う商品の増加125,971千円によるものです。固定資産は、前事業年度末に比べ34,724千円増加し、464,320千円となりました。これは主に、新規出店等に伴う敷金及び保証金の増加28,214千円によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ35,459千円減少し、552,965千円となりました。これは主として、未払法人税等24,033千円並びに未払消費税等24,876千円等の減少によるものです。固定負債は、前事業年度末に比べ176,856千円増加し、505,400千円となりました。これは主に、長期借入金の増加181,219千円によるものです。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ7,611千円増加し、787,530千円となりました。これは主に、四半期純利益27,499千円の計上に加え、平成20年3月31日を基準日とする配当の支払により、16,990千円の利益剰余金の取り崩しを行なったこと、自己株式2,897千円の取得があったことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べ32,617千円減少し400,916千円となりました。

また、当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は47,111千円となりました。これは主に税引前四半期純利益63,726千円を計上したものの、たな卸資産の増加126,560千円があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は121,600千円となりました。これは主に定期預金の預入による支出27,064千円、有形固定資産の取得による支出47,458千円、敷金及び保証金の差入による支出32,337千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、136,094千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入400,000千円の増加要因がありましたが、長期借入金の返済による支出231,799千円、配当金の支払額16,720千円等の減少の要因があったことによるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における当社業績は、直営事業並びにフランチャイズ事業は概ね好調に推移し、売上高、営業利益につきましては計画とおおり推移しており、通期業績予想の修正はございません。経常利益、当期純利益につきましては、平成21年1月13日公表「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ」のおおり、当社株式の公開買付けに伴う自己株式の取得手数料及び本社機能の町田本店統合に伴う本社移転費用等を新たに織り込み、経常利益については89百万円（前回発表予想140百万円）、当期純利益においては36百万円（前回発表予想80百万円）とし、平成21年3月期の通期業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

#### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### 1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

#### 2. 棚卸資産の評価基準の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当事業年度より適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。なお、当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	464,631	470,183
売掛金	200,001	208,922
商品	644,904	518,933
貯蔵品	1,197	609
前払費用	45,806	40,910
繰延税金資産	15,123	23,741
未収入金	9,898	5,721
預け金	3,541	3,728
その他	2,728	1,862
貸倒引当金	△6,257	△7,321
流動資産合計	1,381,576	1,267,291
固定資産		
有形固定資産		
建物	227,671	206,019
減価償却累計額	△115,248	△104,367
建物（純額）	112,422	101,651
構築物	64,168	62,263
減価償却累計額	△45,499	△44,199
構築物（純額）	18,668	18,064
機械及び装置	50,605	46,462
減価償却累計額	△27,474	△25,453
機械及び装置（純額）	23,130	21,008
車両運搬具	6,448	5,625
減価償却累計額	△4,494	△5,323
車両運搬具（純額）	1,953	301
工具、器具及び備品	250,877	240,232
減価償却累計額	△198,284	△184,603
工具、器具及び備品（純額）	52,593	55,629
有形固定資産合計	208,769	196,655
無形固定資産		
商標権	1,370	1,617
ソフトウェア	61,657	68,922
電話加入権	2,531	2,531
無形固定資産合計	65,559	73,070
投資その他の資産		
出資金	10	10
破産更生債権等	21,421	21,421
長期前払費用	612	—
繰延税金資産	10,251	9,455
敷金及び保証金	177,019	148,805
貸倒引当金	△19,323	△19,823
投資その他の資産合計	189,991	159,869
固定資産合計	464,320	429,596
資産合計	1,845,896	1,696,888

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,001	90,033
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	216,166	229,184
1年内償還予定の社債	—	7,000
未払金	81,364	52,121
未払費用	38,256	22,499
未払法人税等	10,028	34,061
未払消費税等	1,770	26,646
未払配当金	269	—
預り金	6,967	3,421
賞与引当金	7,934	17,851
その他	6,207	5,603
流動負債合計	552,965	588,424
固定負債		
長期借入金	459,859	278,640
長期未払金	13,141	18,404
長期預り保証金	32,400	31,500
固定負債合計	505,400	328,544
負債合計	1,058,366	916,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,330	268,330
資本剰余金	287,225	287,225
利益剰余金	234,873	224,364
自己株式	△2,897	—
株主資本合計	787,530	779,919
純資産合計	787,530	779,919
負債純資産合計	1,845,896	1,696,888

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,452,085
売上原価	1,913,925
売上総利益	1,538,159
販売費及び一般管理費	1,438,308
営業利益	99,851
営業外収益	
受取利息	491
受取手数料	5,191
その他	4,625
営業外収益合計	10,308
営業外費用	
支払利息	12,162
支払手数料	24,183
その他	159
営業外費用合計	36,505
経常利益	73,654
特別利益	
固定資産売却益	165
賞与引当金戻入額	942
貸倒引当金戻入額	1,147
特別利益合計	2,256
特別損失	
固定資産除却損	3,611
本社移転費用	6,608
訴訟和解金	1,964
特別損失合計	12,183
税引前四半期純利益	63,726
法人税、住民税及び事業税	25,065
過年度法人税等	3,339
法人税等調整額	7,821
法人税等合計	36,227
四半期純利益	27,499

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	63,726
減価償却費	32,482
その他の償却額	22,866
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,917
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,563
受取利息及び受取配当金	△491
支払利息	12,162
固定資産除却損	3,611
固定資産売却損益 (△は益)	△165
移転費用	6,608
売上債権の増減額 (△は増加)	8,920
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△126,560
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9,577
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,032
その他の負債の増減額 (△は減少)	19,571
小計	15,640
利息及び配当金の受取額	491
利息の支払額	△12,772
法人税等の支払額	△50,470
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△47,111</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△27,064
有形固定資産の取得による支出	△47,458
有形固定資産の除却による支出	△3,008
無形固定資産の取得による支出	△14,354
敷金及び保証金の差入による支出	△32,337
敷金及び保証金の回収による収入	2,623
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△121,600</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△231,799
社債の償還による支出	△7,000
自己株式の取得による支出	△2,897
配当金の支払額	△16,720
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,263
割賦債務の返済による支出	△225
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>136,094</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32,617
現金及び現金同等物の期首残高	433,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	400,916

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,259,950
II 売上原価	1,757,924
売上総利益	1,502,026
III 販売費及び一般管理費	1,385,010
営業利益	117,015
IV 営業外収益	10,507
V 営業外費用	13,607
経常利益	113,915
VI 特別利益	3,989
VII 特別損失	30,246
税引前四半期純利益	87,658
税金費用	40,363
四半期純利益	47,295

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	87,658
減価償却費	38,126
その他償却費	22,485
賞与引当金の増加額	1,074
貸倒引当金の増加額	23,493
受取利息及び受取配当金	△409
支払利息	13,464
子会社株式整理損	122
店舗閉鎖損失	9,791
売上債権の減少額	1,351
破産更生債権の増加額	△21,421
たな卸資産の減少額	63,119
その他資産の増加額	△2,399
仕入債務の増加額	20,607
その他負債の増加額	7,157
小計	264,223
利息及び配当金の受取額	409
利息の支払額	△14,127
法人税等の還付額	18,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,051

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5,712
有形固定資産の取得による支出	△1,754
有形固定資産の売却による収入	6,737
無形固定資産の取得による支出	△7,471
敷金保証金等の支払による支出	△14,211
敷金保証金等の返還収入	26,431
店舗閉店に伴う支出	△2,000
子会社の清算による収入	9,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,698
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(純増額)	△77,000
長期借入金の返済による支出	△104,148
社債の償還による支出	△7,000
ファイナンスリース債務の返済による支出	△5,093
割賦購入未払金の返済による支出	△2,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,834
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額	84,914
VI 現金及び現金同等物の期首残高	340,550
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	425,465

## 6. 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

該当事項はありません。

### (2) 受注状況

当社は一般顧客（最終消費者）を対象とした店頭販売であるため、記載を省略いたします。

### (3) 仕入の状況

中古カー用品等の販売事業における商品分類別仕入実績

商品分類別	当第3四半期累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)		
	仕入高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
タイヤ・アルミホイール	546,954	29.7	120.8
カーオーディオ カーエレクトロニクス	350,969	19.0	114.4
カースポーツ用品	280,064	15.2	116.9
その他のカー用品	665,591	36.1	122.3
合計	1,843,580	100.0	119.5

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 金額は仕入価格によっております。

### (4) 販売実績

商品分類別販売実績

商品分類別	当第3四半期累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	
タイヤ・アルミホイール	1,111,284	32.2	106.0	
カーオーディオ カーエレクトロニクス	666,414	19.3	104.8	
カースポーツ用品	504,074	14.6	94.9	
その他のカー用品	756,713	21.9	117.1	
小計	3,038,487	88.0	106.2	
フランチャイズ収入	ロイヤリティ収入	188,154	5.5	103.4
	その他の収入	225,443	6.5	103.8
	小計	413,597	12.0	103.6
合計	3,452,085	100.0	105.9	

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。